

新本店  
オープンしました。

GREEN  
BANK

第167期 営業のご報告  
ミニディスクロージャー誌  
平成28年4月1日 — 平成29年3月31日

SHIMANE 島根銀行

# しまぎん 新本店


**OPEN**

2017年2月13日(月) オープン!

## ふるさとを守り、ともに歩む GREEN BANK

島根銀行は、新本店ビルの営業を2月13日から開始いたしました。

2015年5月に迎えた創業100周年記念事業として旧本店ビルを一新、「GREEN BANKしまぎん」をコンセプトにした新本店ビルを、JR松江駅に近い松江駅前支店の東隣に建設しました。

今まで以上に地域に貢献したいと考えています。その思いを込めた新本店ビルをご紹介します。

松江駅前の好立地、もっと便利に

GREEN FUNCTION



落ち着いたある  
機能的な本店です

自動貸金庫



●年間使用料

タイプ	幅	奥行	高さ	基本料金
A	26.0cm	45.0cm	10.2cm	16,848円
B	26.0cm	45.0cm	14.0cm	20,736円
C	26.0cm	45.0cm	21.6cm	25,920円

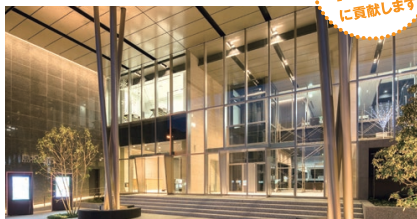
※当行とのお取引条件により、復送料金もございます。

より快適に、  
便利にお使い  
いただけます!

ぐんんと  
便利  
になりました

安心をご提供する防災拠点に

GREEN TECHNOLOGY



街に明かりと情報を絶やさないグリーンプラザ



大会議室



デジタルサイネージ

ふるさとの  
「もしも」に  
備えます!

ふるさとの  
防災  
に貢献します

CO<sub>2</sub> 削減による環境保護

GREEN ECOLOGY



屋上の  
ソーラーパネル



快適な職場で  
お客さまへの  
サービス向上に努めます

自然の力を  
見逃さず、  
省エネに活用  
します!



ふるさとの  
環境  
を守ります



“GREEN BANK しまぎん”は、地域密着の歴史を持つ銀行として、地域の低炭素化社会と地域防災に貢献するプロジェクトです。

### GREEN TOWER

(親しみやすいシンボルタワー)

### GREEN PLAZA

(おもてなしの心が感じられる広場)

### GREEN ECOLOGY

(環境と省エネに配慮した先進ビル)

### GREEN TECHNOLOGY

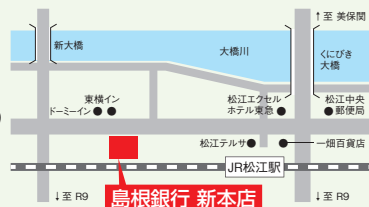
(安心・安全の技術)

### GREEN FUNCTION

(機能的で合理的な本店機能)

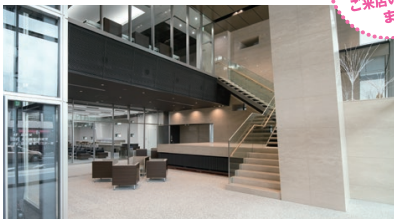
#### DATA

〈新本店 ご連絡先〉  
松江市朝日町484番地19  
TEL 0852-24-1234



交流スペースでおもてなし

GREEN TOWER&PLAZA



よりいっそう  
お気軽に  
ご来店いただけ  
ます

ゆったりとおくつろぎいただける、エントランスのオープンスペース



ひさしの下には、ご通行中の方にもご利用いただけるようなベンチを設けました

お気軽にお立ち寄りください!



## ごあいさつ



## 会社概要 (平成29年3月31日現在)

創業年月日	大正4年5月20日
本店所在地	島根県松江市朝日町484番地19
URL	<a href="http://www.shimagin.co.jp">http://www.shimagin.co.jp</a>
資本金	66億36百万円
店舗数	34店（島根県25店、鳥取県9店）
従業員数	400名
預金残高	3,689億円
貸出金残高	2,635億円

### Contents

TOPICS .....	1
ごあいさつ .....	3
島根銀行について .....	4
中期経営計画 .....	5
業績ハイライト .....	6
CSRへの取組み .....	9
連結財務諸表 .....	13
単体財務諸表 .....	14
株主の皆さまへ .....	裏表紙

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび定時株主総会後の取締役会におきまして、代表取締役頭取に選任され、就任いたしました。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当行は、平成28年4月より3か年計画でスタートしました中期経営計画「次の100年に向かって～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～」の計画に基づき、経営ビジョンの実現を目指し、役職員一丸となって、様々な施策の実践に取り組んでおります。このような中、かねてより建設を進めておりました新本店ビルが昨年11月に竣工し、平成29年2月13日には、本店所在地を松江市朝日町に移し、営業を開始いたしました。

これもひとえに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さまなどステークホルダーの皆さまの温かいご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

新本店ビルは「GREEN BANKしまぎん」をコンセプトに掲げ、お客さまの利便性向上や業務の効率化はもちろんのこと、地元とともに歩むことを使命として、最先端の環境保護・省エネ設備を採用するとともに、もしもの時には地域の防災拠点として機能を発揮できる設備を整えております。また、地域の皆さまに愛され、親しまれるシンボルタワーとなるよう、集いの場所としてご活用いただけるオープンスペースも設けております。

これからの100年に向けて、地域のエコと防災に積極的に貢献していくとともに、地域に根ざした銀行として、地域密着型金融をより一層強化し、お客さまの各種ニーズへのスピーディーな対応により、当地域の経済を支えていくという重要な使命を全うする所存でございますので、引き続きご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

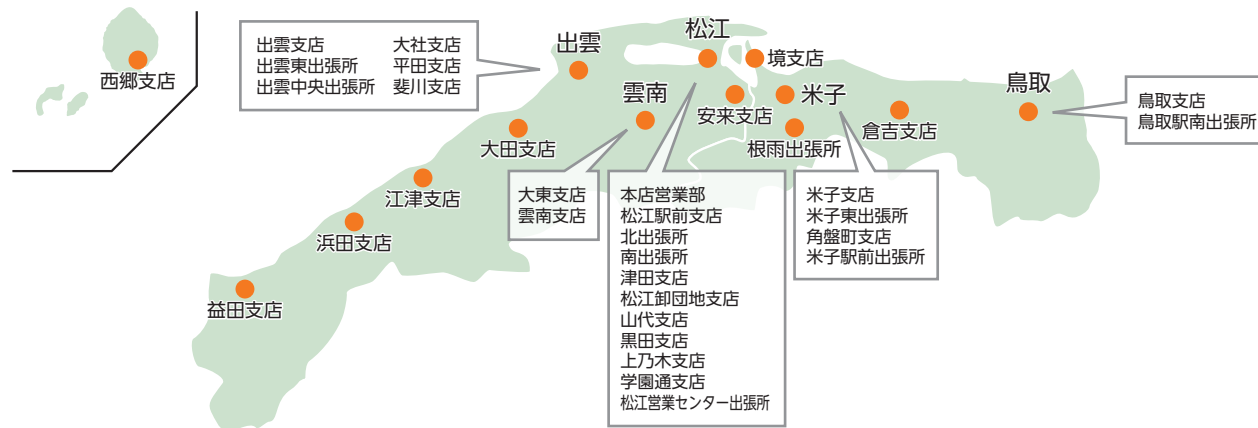
この度、経営情報を、より分かりやすく皆さまにお伝えするために、ミニディスクロージャー誌を作成いたしましたのでご案内いたします。

ぜひご一読いただき、当行へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

平成29年6月  
取締役頭取 鈴木良夫

# 島根銀行について

## 店舗網 (平成29年3月31日現在)



## 役員一覧 (平成29年6月27日現在)

取締役頭取 (代表取締役)	鈴木	木	良	夫
取締役相談役	田	頭	基	典
常務取締役	若	槻	明	彦
常務取締役	飯	塚	貴	久
常務取締役	朝	山	克	也
取締役	金	築		宏
取締役	松	井	和	城
取締役	吉	川	隆	博
取締役	竹	原	信	彦
取締役 (社外)	上	野	豊	明
取締役 (社外)	多々	々	道	子
常勤監査役	小	谷	周	作
監査役 (社外)	周	藤		滋
監査役 (社外)	石	原	明	男
監査役 (社外)	岡	崎	勝	彦

## 関係会社 (平成29年3月31日現在)

### 松江リース(株)

当行の子会社であり、リース業務を行っております。

- 住所 島根県松江市西津田一丁目5番18号
- 設立年月日 昭和56年4月25日

### しまぎんユーシーカード(株)

当行の関連会社であり、クレジットカード業務を行っております。

- 住所 島根県松江市朝日町484番地19
- 設立年月日 平成9年10月22日

# 中期経営計画

## 経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

## 経営ビジョン

フェイス・トゥ・フェイスの精神の下、地域密着型金融を強化し、自主独往路線を堅持しつつ、質の高い金融仲介機能の発揮とそれを支えるための健全性の維持向上により、持続的成長と中長期的な企業価値の向上に努め、地方創生に貢献できる銀行

## 中期経営計画「次の100年に向かって」 【計画期間：平成28年4月～平成31年3月】 ～自主独往路線を堅持しての地方創生への貢献～

中期経営計画は、創業の原点（逼迫した庶民金融への貢献、産業の振興）を再確認のうえ、経営理念の下、次の100年に向かって、継続しての「人材の強化」「組織の強化」「営業の強化」「財務の強化」の4本柱の取組みにより、経営ビジョンの実現を目指します。

### 人材の強化

- 1 実践力ある人材の育成
- 2 コミュニケーション能力の向上
- 3 女性・若手行員の活躍促進
- 4 コンプライアンス意識の醸成

### 営業の強化

- 1 経営資源の集中投下による経営体制の強化
- 2 事業取引の対応強化
- 3 個人取引の対応強化
- 4 役員取引の対応強化

### 組織の強化

- 1 内部管理態勢の充実
- 2 社会的弱者・金融犯罪に対する適切な対応
- 3 危機管理態勢の充実
- 4 企業イメージの向上

### 財務の強化

- 1 自己資本の充実
- 2 信用コストの抑制
- 3 有価証券の適切なポートフォリオの構築
- 4 統合的リスク管理の高度化

### 中計数目標

経常収益

77億円

経常利益

9億円

自己資本比率

8%台

経常費用

68億円

純利益

7億円

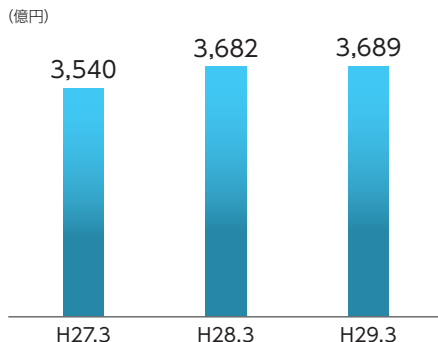
不良債権比率

3%台

## 業績ハイライト

## 預金

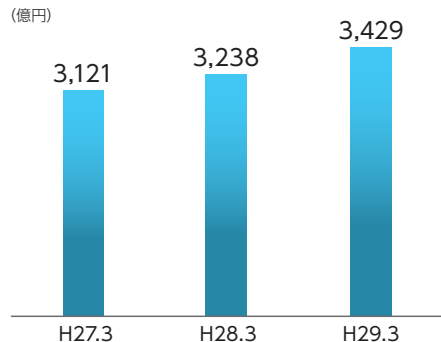
3,689億円



公金預金が減少しましたが、個人預金が増加したことから、全体では期中6億円増加し3,689億円となりました。

## 個人預り資産

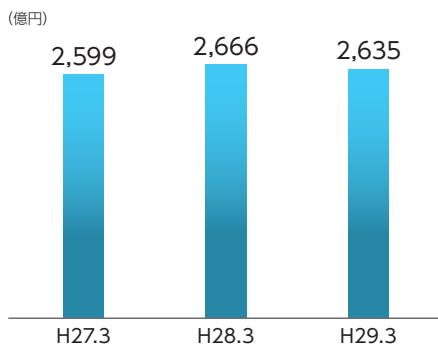
3,429億円



個人預金や年金保険等が増加したことから、全体では期中190億円増加し3,429億円となりました。

## 貸出金

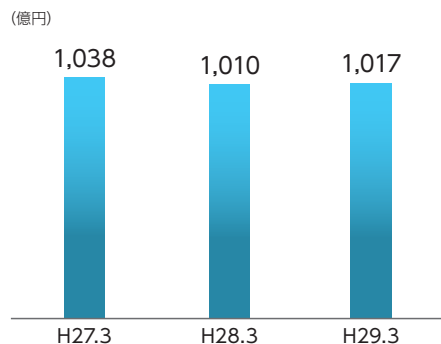
2,635億円



地公体向け貸出金や個人向け貸出金が増加しましたが、法人向け貸出金が減少したことなどから、全体では期中31億円減少し2,635億円となりました。

## 有価証券

1,017億円

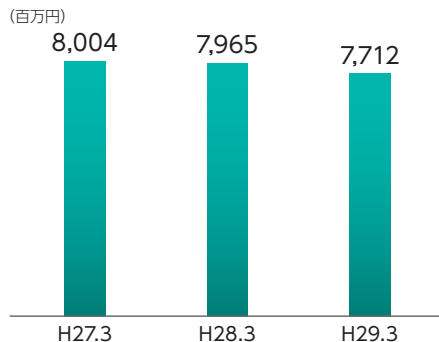


債券が減少した一方で受益証券が増加したことから、全体では期中6億円増加し1,017億円となりました。

## 業績ハイライト

## 経常収益

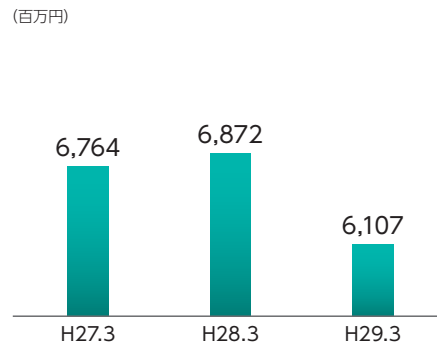
7,712百万円



貸出金利回りの低下を主因として貸出金利息が減少したことや、有価証券関係収益が減少したことなどから、前期比253百万円減少し7,712百万円となりました。

## 経常費用

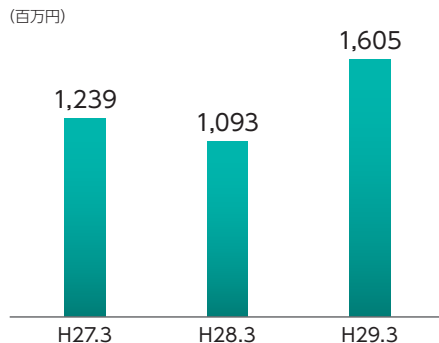
6,107百万円



営業経費が増加しましたが、貸倒引当金繰入額が戻入に転じたことなどから、前期比765百万円減少し6,107百万円となりました。

## 経常利益

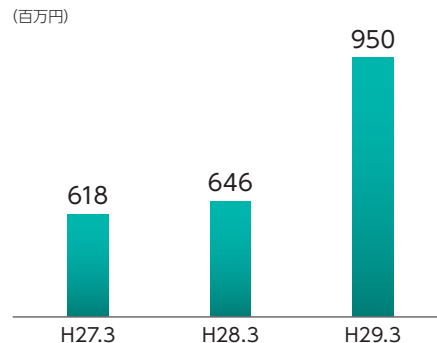
1,605百万円



経常利益は、前期比512百万円増益の1,605百万円となりました。

## 当期純利益

950百万円

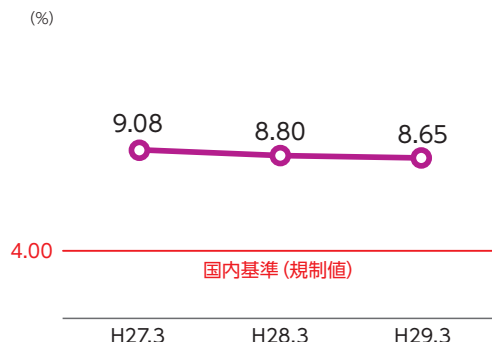


当期純利益は、前期比303百万円増益の950百万円となりました。



## 自己資本比率

# 8.65%



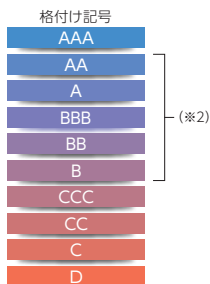
自己資本比率は、前期比0.15ポイント低下の8.65%となりました。

## 長期発行体格付 <sup>(※1)</sup>

当行では、経営の透明性の確保に向けた積極的なディスクロージャーの一環として、客観的な第三者機関からの評価を提供するため、株式会社日本格付研究所 (JCR) の長期発行体格付を取得しております。

平成29年3月末現在の格付けは「トリプルBマイナス」です。

- 格付け
- >> トリプルBマイナス
- 格付けの見直し
- >> 安定的
- 格付け機関
- >> 株式会社日本格付研究所 (JCR)

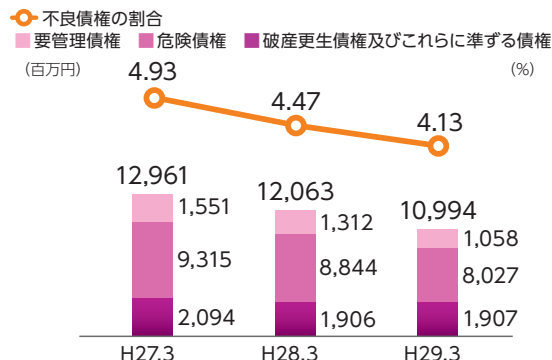


(※1) 長期発行体格付とは、債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を比較できるように等級をもって示すものです。

(※2) AAからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス (+) もしくはマイナス (-) の符号による区分があります。

## 不良債権の割合

# 4.13%



金融再生法開示債権額の総額は、10,994百万円、不良債権の割合は4.13%となっております。

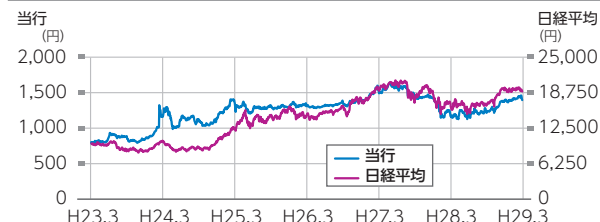
## 株価の状況

当行株式は、東京証券取引所市場第一部銘柄に指定されております。(円)

	平成26年4月~平成27年3月	平成27年4月~平成28年3月	平成28年4月~平成29年3月
終 値	1,513	1,174	1,392
最 高	1,646	1,648	1,470
最 低	1,276	1,141	1,106

(注) 終値及び最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものです。

## 株価(終値)の推移



# CSRへの取組み

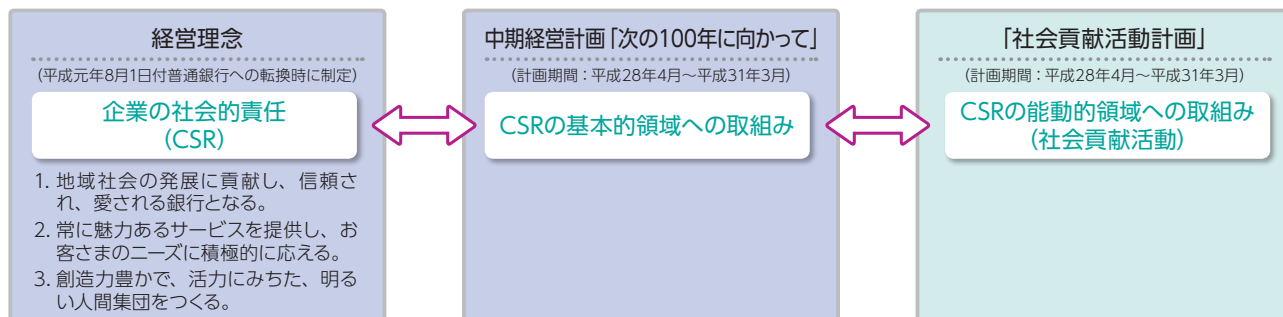
## ■ 企業の社会的責任 (CSR) に対する当行の考え方

当行は、従来から企業の社会的責任（以下、「CSR」という。）の重要性を強く認識し、CSRへの取組みを「経営理念」の一つとして掲げた上で、この具体的な取組みを経営計画などで明確化し、実効性を確保しております。

その具体的な取組みにおいては、CSRの基本的領域ともいふべき、経済的責任、遵法責任、倫理的責任を果たすべく、収益性・健全性の向上や内部管理態勢の強化などに向けた取組みを着実に実施するとともに、株主の皆さま、お客さま、地域の皆さま、従業員などのステークホルダーの皆さまからの様々なご期待にお応えできるよう、地域貢献や地域環境の保全など、能動的領域の取組みともいふべき、社会貢献活動についても従来から積極的に推進しております。

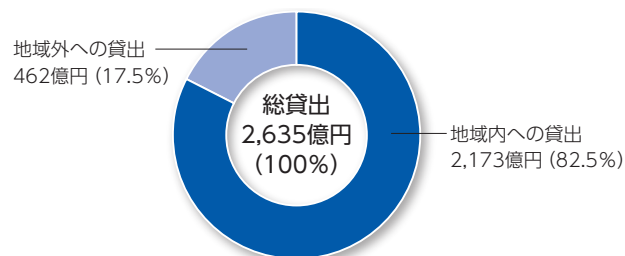
また、取組みにあたっては、ステークホルダーの皆さまとの繋がりが何よりも重要であると考え、法令等で開示が求められる事項はもちろんのこと、「しまぎん経営情報説明会」（山陰各地区で年1回開催）やディスクロージャー誌などを通じて、社会貢献活動に関する情報を積極的に開示しております。

平成28年4月～平成31年3月においては、中期経営計画「次の100年に向かって」（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）に加え、当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した、「社会貢献活動計画」（計画期間：平成28年4月～平成31年3月<3年間>）」に基づき様々な取組みを実施することにより、企業価値の向上を図り、経営理念の具現化並びにCSRの全うを目指してまいります。



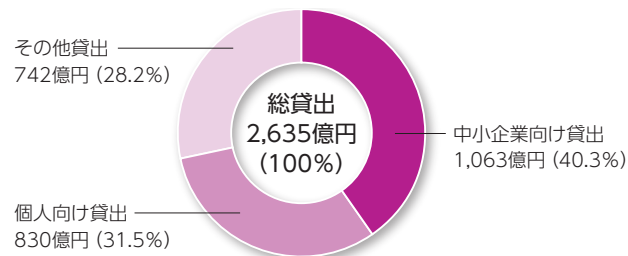
## ■ 地域内における貸出状況 (平成29年3月31日)

地域のお客さまからお預かりした大切なご預金のほとんどを地域内の貸出に向けており、その残高は貸出金全体の82.5%を占めております。



## ■ 中小企業や個人のお客さまへの貸出状況 (平成29年3月31日)

地域の中小企業や個人のお客さまへの貸出を積極的に行っており、その合計残高は貸出金全体の71.8%（うち、中小企業向け貸出40.3%、個人向け貸出31.5%）を占めております。（中小企業向け貸出は、地方公社を含む）



## 社会貢献活動計画

当行役職員の社会貢献活動に対する意識の更なる醸成に向けて策定した「社会貢献活動計画」に基づき、その実践に努めてまいります。

### 〈社会貢献活動の枠組み〉

当行における社会貢献活動の枠組みは、以下のとおりでございます。



## CSRへの取組み

当行は、社会貢献活動の一環として、次のような取組みを行っております。



### 地域振興への取組み

地域振興に資する事業の支援、各種セミナーの開催等に取り組んでいます。

#### 「しまぎん住宅営業セミナー」の開催

平成15年度から、主に住宅関連企業の営業担当者さまを対象としたセミナー（参加費無料）を開催し、住宅に関する専門知識や経営・営業に関する内容等、お客さまのお役に立つ様々な情報を提供しております。

平成28年度においては、積水ハウスにてトップ営業マンとして活躍された加藤正彦氏（株式会社CAP代表取締役）を講師にお招きし、「『住まいの参観日』を考えた男が語る現場見学会の成功法」をテーマとして開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。（参加実績：5会場計…89社142名）



### 地域貢献への取組み

地域社会全体の活性化に貢献する活動への支援や参加等に取り組んでいます。

#### 地域防災への貢献 松江市と「一時滞在施設への帰宅困難者の受入に関する協定」を締結

新本店ビルにおいては、災害時に電源などを自ら確保することで自立し、地域の防災拠点となることのできる設備を整えております。

特に、地震対策としては、5つの免震装置を設置（中間階免震構造の採用）しており、震度6強の地震が発生しても建物の構造に損傷を受けない建物となっております。

平成29年2月には、松江市と「一時滞在施設への帰宅困難者の受入に関する協定」を締結し、新本店ビルが、松江市の「帰宅困難者一時受入施設」に指定されました。

地震や台風などの大きな自然災害で交通網が被害を受け、帰宅困難者等が出た場合は、1階のオープンスペースと3階の大会議室を開放し、約100人を収容することができ、そして、100人がそのまま3日間を過ごせるだけの飲料水と食料品、毛布などの防災用品を常時蓄えております。



### お客さま利便性向上への取組み

店舗環境整備、ATMやインターネットバンキングの機能強化等に取り組んでいます。

#### 機能的な新本店ビル JR松江駅前の好立地、より快適に、より便利に

新本店ビルは、JR松江駅から近いことから交通の便も良く、より機能的で、お客さまにご利用いただきやすい本店に生まれ変わりました。

2階には、山陰地区では例のない長時間営業の自動貸金庫を設置しております。また、バリアフリーとし、車いすの方でも支障なくご利用いただける設計となっております。



自動貸金庫







## 社会問題への取り組み

金融犯罪に対する被害の未然防止、この被害に対する補償等に取り組んでいます。

### インターネットバンキングの被害補償制度

全国的にインターネットバンキングの不正送金被害が拡大している状況を踏まえ、インターネットバンキングをご利用のお客さまが不正送金被害に遭われた場合、法人のお客さまは1契約先あたり年間1,000万円、個人のお客さまは全額補償する被害補償制度を設けております。

セキュリティについては、ワンタイムパスワードをお客さまに推奨する等、引き続き、お客さまに安心してインターネットバンキングをご利用いただくため、ご利用環境の整備に努めております。

### 個人向けインターネットバンキングの口座開設時におけるチェック体制の強化

個人向けインターネットバンキングにつきましては、全国的に不正利用目的での口座開設が増加する中、平成27年10月に、インターネット普通預金の口座開設時における取引時確認のチェック体制を強化しております。

その他、全国の金融機関及び警察と連携、情報共有をはかり、金融犯罪を未然に防ぐ取り組みを行っております。



## 環境問題への取り組み

省エネ・省資源活動の参加等に取り組んでいます。

### 省エネ・省資源活動への取り組み

地球温暖化対策を推進する気候変動キャンペーン「Fun to Share」(みんなでシェアして低炭素社会へ)の趣旨に賛同し、日常的に「クールビズ」「ウォームビズ」等の省資源につながる行動を行っております。

また、平成29年2月13日より営業を開始しました新本店は「非常時自立型省エネビル」として中央監視装置を備え、南西と北東の建物内部角面に設置したツインコーナーエコボイド(吹き抜け空間)により自然換気を促進及び太陽熱の回収を図るとともに、省エネ空調システムとの併用により省CO<sub>2</sub>化を図っております。



## 職場環境整備への取り組み

従業員の働きがいが、サービス・お客さま満足度の向上につながるのと考えの下、職場環境整備に取り組んでいます。

### 人材育成及び職場環境の充実

女性の活躍推進にかかる意識・取り組みを更に加速させていくための行動計画である「女性活躍アクションプラン～しまぎんの取り組み～」に基づき、女性行員のキャリア意識の向上や女性のキャリア形成支援等に積極的に取り組むとともに、定時退行推進宣言の啓蒙・実践、男性の育児休業の取得促進、女性に限らず育児に関する情報交換等を行う「育休ミーティング」の開催等、仕事と家庭の両立支援の推進により、明るく働きがいのある職場作りを目指しております。この他、外部専門機関を通じて労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施し、行員のストレス状況への気づきを促すことや、職場環境の改善などを通じ、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ取り組みを行っております。

また、あらゆるお客さまの立場に立って、迅速、正確、良質、あたたかいサービスをご提供できるよう、平成28年度中に「サービス・ケア・アテンダント」の資格を29名が取得するなど、ユニバーサルサービスの強化に向けた人材育成に努めております。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	
現金預け金	34,644
買入金銭債権	2,899
有価証券	101,256
貸出金	261,835
外国為替	8
リース債権及びリース投資資産	4,309
その他資産	2,564
有形固定資産	10,409
無形固定資産	359
退職給付に係る資産	131
繰延税金資産	44
支払承諾見返	7,743
貸倒引当金	△ 3,101
資産の部合計	423,104
<b>負債の部</b>	
預金	368,751
借入金	21,806
社債	1,520
その他負債	1,283
役員退職慰労引当金	218
睡眠預金払戻損失引当金	20
偶発損失引当金	52
本店建替損失引当金	175
繰延税金負債	873
再評価に係る繰延税金負債	527
支払承諾	7,743
負債の部合計	402,973
<b>純資産の部</b>	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	8,223
自己株式	△ 43
株主資本合計	15,289
その他有価証券評価差額金	3,689
土地再評価差額金	1,090
退職給付に係る調整累計額	42
その他の包括利益累計額合計	4,821
非支配株主持分	20
純資産の部合計	20,131
負債及び純資産の部合計	423,104

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
経常収益	10,197
経常費用	8,471
経常利益	1,726
特別利益	138
特別損失	490
税金等調整前当期純利益	1,374
法人税、住民税及び事業税	185
法人税等調整額	157
法人税等合計	342
当期純利益	1,031
非支配株主に帰属する当期純利益	1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,029

\*記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 単体財務諸表

## 第167期末 貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成29年3月31日現在)
<b>資産の部</b>	
現金預け金	34,393
買入金銭債権	2,899
有価証券	101,705
貸出金	263,513
外国為替	8
その他資産	1,174
有形固定資産	10,346
無形固定資産	354
前払年金費用	70
支払承諾見返	7,743
貸倒引当金	△ 2,941
資産の部合計	419,267
<b>負債の部</b>	
預金	368,964
借入金	18,823
社債	1,500
その他負債	1,203
役員退職慰労引当金	218
睡眠預金払戻損失引当金	20
偶発損失引当金	52
本店建替損失引当金	175
繰延税金負債	854
再評価に係る繰延税金負債	527
支払承諾	7,743
負債の部合計	400,082
<b>純資産の部</b>	
資本金	6,636
資本剰余金	472
利益剰余金	7,339
自己株式	△ 43
株主資本合計	14,404
その他有価証券評価差額金	3,689
土地再評価差額金	1,090
評価・換算差額等合計	4,779
純資産の部合計	19,184
負債及び純資産の部合計	419,267

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 第167期 損益計算書

(単位：百万円)

科目	当事業年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで)
経常収益	7,712
経常費用	6,107
経常利益	1,605
特別利益	138
特別損失	490
税引前当期純利益	1,253
法人税、住民税及び事業税	159
法人税等調整額	143
法人税等合計	302
当期純利益	950

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆さまへ

## 株式の状況 (平成29年3月31日現在)

発行可能株式総数	18,600千株
発行済株式の総数	5,576千株
株主数	4,701名
議決権を有する株主数	4,000名

## 株主メモ

決算日 3月31日

定時株主総会 6月中

配当金受領株主確定日 期末配当金:3月31日  
中間配当金:9月30日

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店

同事務取扱場所 〒103-0025  
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号  
日本証券代行株式会社 本店

〔郵便物送付先〕  
お問合せ先

〒168-8620  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
日本証券代行株式会社 代理人部  
☎ 0120-707-843

公告掲載方法 電子公告による公告とし、当行ホームページ (<http://www.shimagin.co.jp>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## IRカレンダー (予定)

- ディスクロージャー誌発行
- 経営情報説明会
- 第1四半期決算短信開示

7月

8月

■ 第1四半期報告書提出

■ 中間決算発表

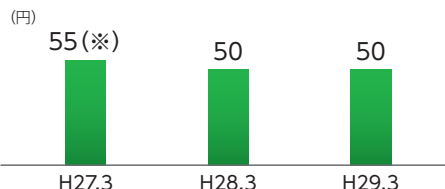
■ 第2四半期報告書提出

11月

12月

■ 中間期ミニディスクロージャー誌発行

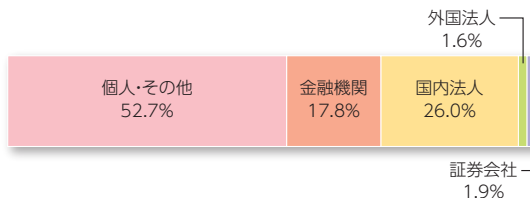
## 1株当たり年間配当金の推移



※H27.3の1株当たり年間配当金のうち5円は創業100周年記念配当であります。

## 株式分布の状況 (平成29年3月31日現在)

所有者別状況



所有株数別状況

